

発言No. 14

受付No. 11  
令和4年6月7日  
9時30分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 15 番 氏名 岡本 正友

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(口をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 コロナ禍で表面化した地域の課題について

沈静化しつつあった浜田市の感染者数は、年明け以降に変異オミクロン株の影響から急増し、4月1日より5月の連休明けを過ぎても、高い数値の繰り返しを示して終息しそうにない様相である。しかしここにきてやっと1桁台となり落ち着きを見せている。感染予防対策の今後は、3回目のワクチン接種から5ヶ月が経過した18歳以上で基礎疾患を有する方や重症化リスクが高い方、60歳以上の方に4回目の接種が開始された。

終息の見えない不安から、自粛生活の状態が長引くことが、住民相互の交流が閉ざし、確実に慣例や地域活動の形態を大きく変容させている。そこに石油等の高騰から、食品や製品等の相次ぐ値上げによって消費物価はあがり、ウクライナ紛争がさらなる拍車をかける状態で地方における市民の生活は、より深刻な状況となっていると感じている。

続くコロナ禍で、市民の活動や生活において表面化するまちづくり(自治会活動)における課題の改善と修復など、次の世代につなぐ方策を模索すべきと思っている。

#### (1) まちづくり(自治会活動)の課題について

町内会長のなり手がいない事から役員の高齢化が進んでいる。職場の退職後に自由な時間が取れるとした想定は、消費者物価指数等の上昇も関係し年金では暮らせない状況で、何らかの職に就く実態から会長職の引継ぎの約束が反故される話を伺う。自治会活動における課題の現状認識を問う。

#### (2) 新たな感染症予防のルールについて

パンデミック(世界的大流行)後について、最近日本においてもマスクの脱着などが話題となってきている。また動物もコロナ感染症にかかる報告からも、その対策について、場面に即した感染症予防のルールの必要性を感じるが、所見を伺う。

## 2 これからの地域スポーツの振興について

スポーツ庁は、危険因子に関連する非感染症疾病と外因による死亡数は喫煙が13万人で1位、高血圧が10万人で2位、そして3位に運動不足が原因で毎年5万人が死亡している現状を示し、スポーツの力で運動不足を解消させ、医療費の抑制を目的に支援をしている。また近年は新型コロナウイルス感染症による社会活動の低下や、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革についてなど、新しい生活様式に対応した地域スポーツ環境の基盤強化に対する支援が示されている。

### (1) 中学校の部活動の地域移行とスポーツ振興について

先般、令和5年度以降の浜田市中学校体育連盟活動において、浜田市総体の廃止と浜田市新人総体の廃止の見直し内容が示されている。学校の働き方改革を踏まえた部活動改革であると認識をするが、人間形成の場でもある部活動の意義や課題を補完できる環境整備、改革の方向性と具体的な方策を問う。

### (2) 浜田のスポーツ振興支援について

市民の運動環境に関わる組織として浜田市体育協会があり、競技スポーツや総合型地域スポーツクラブ、スポ少や小体連や中体連等がその傘下にある。また福祉施策では、ウォーキングをはじめ健康体操など、健康増進に努めているが、浜田市民のスポーツ実施率の現状認識を問う。

### (3) 地域スポーツの推進と人材育成について

2030年に島根県で開催される国民スポーツ大会の戦略会議は、各スポーツ競技団体に対して、選手の競技力強化向上のマネジメントや、審判員記録員等の競技役員の育成を要請している。競技人口の減少や競技役員の高齢化の現状の改善を図る上でも、指導者や競技役員の人材育成を図る必要性を感じるが所見を問う。